

東京文化会館モーニングコンサートは、上野中央通り商店会の方々のご協力により、2005年より継続してまいりました。この7月にはめでたく50回を迎えます。それを記念し、Vol.44(2011年1月)より毎回1店舗を(今月のお店)として皆さまにご紹介しています。モーニングコンサートの後はぜひ、上野中央通りのお店にお立ち寄り下さい。

(今月のお店) ヤマシロヤ (おもちゃ専門店)

インタビューにお答え頂いたのは...

富坂 保春 さん

(有)ヤマシロヤ 専務取締役
パンダのぬいぐるみと共にとびきりの笑顔の富坂さんはなんと、アナウンサーとして競馬実況などもされていたという異色の経歴と美声の持ち主。3月の震災で、中央通りのお店も大きな影響を受けたそうですが、「待望のパンダも来てスカイツリーも完成間近。今こそ上野は頑張るとき!」という言葉に力が溢れていました。



- 一広小路口前にそびえ立つヤマシロヤさんは、地下1階から5階までが全ておもちゃ屋さんという、豊富な品揃えで有名です。取り扱う商品はどのように決めているのですか?

私たちはいつも、おもちゃを通して子供たちに夢を与えたいと思っています。でもだからと言って決して子供たちのためだけでなく、老若男女問わず、どの世代にも喜んで頂ける品揃えを心掛けています。新商品や、今で言えばパンダなどタイムリーなもの、メーカーから提案された売れ筋商品などは取り入れますが、何よりも大事にしているのは「これがほしい」というお客様からのニーズ、生の声です。たとえば、小さい頃満足におもちゃを買ってもらえなかったガンダム世代のお父さんたちは、大人になった今ようやく「大人買い」ができる。そういう方々が、昔ほしかったプラモデルやフィギュアを見つけて喜んで頂けるようなお店でありたい

と思っています。

- 一お店の歴史を教えてください。

実は最初からおもちゃ屋だったのではなくもともとは「山城屋旅館」という旅館で、戦後おもちゃ屋になりました。「ヤマシロヤ」という店名もその名残です。はじめのうちはおもちゃ以外にお土産を扱っていたのですがおもちゃがとても人気があったんです。それで次第に品揃えがおもちゃに偏っていき、やがて全部を占めるようになりました。

- 一ヤマシロヤさんならではの、今後の新たな取り組みとはどんなことですか?

店内にイベントスペースを設けて、地域の方々との交流を深めることができるとなっています。上野の財産はなんといっても沢山の充実した文化施設からなる「上野の山文化ゾーン」です。これらがあるからこそ人が集まり、私たちは商売ができる。商店と文化が共存し良い関係を保っているのは本当に素晴らしいことです。だからこそ、この関係を大事にしていきたいのです。イベントスペースは例えば展示会場として、芸大の学生さんの作品を展示しておき、そこでお客様がご購入もので疲れた足を休め一服しながら作品を眺めるのもよし、また気軽に入れるコンサート会場として、音楽を学ぶ学生さんの発表の場に活用して頂くのも良いと思います。

- 一ヤマシロヤさんは「一度お店に入るとなかなか出られない」と言われますが...

うちのお店には大型店にないものが見付かることもよくあり、お子様やお孫さんといらしても一日楽しんで頂けます。パンダグッズも豊富に取り揃えてお待ちしております。

[お店情報] 東京文化会館から徒歩3分



5月20日(金)~22日(日)
3日間限定特典!
このチラシをお持ちのお客様
先着100名様に
「よちよちパンダ」プレゼント!!

